

製品名: ATP6V0D1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01699**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 40 kDa; Observed MW: 40 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP6V0D1
別名	P39; VATX; VMA6; ATP6D; ATP6DV; VPATPD
遺伝子 ID	9114
SwissProt ID	P61421
免疫原	ヒト ATP6V0D1 の組み換えタンパク質

背景

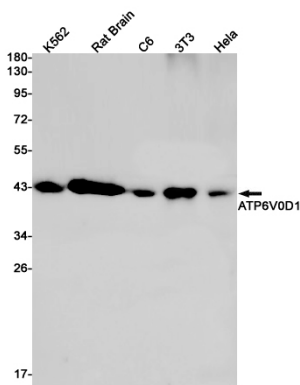
液泡 ATPase の膜貫通型 V0 複合体のサブユニット。液泡 ATPase は真核細胞内の様々な細胞内区画を酸性化し、液胞系における輸送

プロセスに必要なエネルギーの大部分を供給する。プロトン輸送と ATP 加水分解のカップリングにおいて役割を果たす可能性がある。繊毛へのタンパク質の輸送と局在を調節することにより、繊毛の生合成において役割を果たす可能性がある。好気条件下では、細胞内鉄恒常性維持に関与し、Fe²⁺プロリルヒドロキシラーゼ (PHD) 酵素の活性を誘導し、HIF1A の水酸化とそれに続くプロテアソーム分解につながる (PubMed:28296633)。

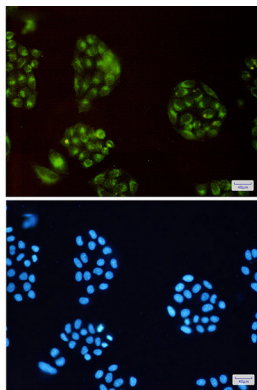
研究分野

シグナル伝達

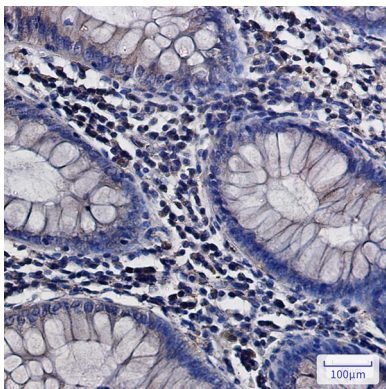
画像データ



ATP6V0D1 抗体を使用した K562、ラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の ATP6V0D1 のウエスタン プロット分析。



ATP6V0D1 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa における ATP6V0D1 (緑) の免疫細胞化学分析



ATP6V0D1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。